

2016B 期における SPring-8/SACLA ユーザー要望等について

登録施設利用促進機関

公益財団法人高輝度光科学研究センター

利用推進部

SPring-8 及び SACLA では、各ビームタイム終了後に実験グループごとに「ビームタイム利用報告書」を提出いただいております。この報告書には、その実験の概要、次回の利用者へのアドバイスや施設に対する要望、提案等を記入いただいております。

2016B 期における要望等の状況は下記のとおりです。これら要望等と、それに対する施設側の回答（内容により、必ずしも全てではありません）につきましては、User Information で公開されています。

1. 2016B 期 要望等全体概要

2016B 期	実施 課題数	利用実験数 (報告書数)	うち、要望等コメントがある ^{*1} 報告書数		
			技術的 要望等	食堂他 要望等	その他 (お礼)
SPring-8 共用 BL	719	1,045	74	35	127
SACLA 共用 BL	43	45	15		

^{*1} 「なし」「None」等のコメントを除く。

<SPring-8 共用 BL 技術的要望等（計 74 件）の研究分野／手法^{*2} 別内訳>

分野 手法	生命科学	医学応用	物質科学・ 材料科学	化学	地球・ 惑星化学	産業利用	その他
X 線回折	18		5	7	2	7	
X 線散乱	2		1			3	
X 線非弾性 散乱			1		2		1
X 線・軟 X 線吸収分光		1	5	3		8	
光電子分光				1		1	
X 線イメージ ング		1	3			1	
その他			1				

^{*2} 課題申請時の利用者申告ベース。

2. 2016B 期 要望等の内容（一部抜粋）

(1) 技術的要望等

○初期に比べて、より大きな標本の撮影が可能となったが、心臓標本などのより大きな試料を撮影するため、さらに改良された実験装置（CT 撮影装

置）が開発されることを希望します。

【医学応用／X 線イメージング】

○測定そのものには全く問題はないが、結晶の選定のために 1 種類あたり 4～5 回の仮測定を行うため、本測定以上の時間を費やすことになる（24 時間のうち、仮測定に 10～14 時間程度必要）。より多くのサンプルを測定するために、センタリングのセミオート化が望ましい。

【化学／X 線回折】

○施設の検出器 PILATUS 2M が老朽化のため、不具合の生じることがあります。高額なものは承知しておりますが、できる限り速やかに、装置を更新していただけるとユーザーとしてはたいへんありがたいと思っております。

【産業利用／X 線回折】

○生物試料準備室で純水を利用しましたが、どのようなレベルの純水（イオン交換水、超純水？）など明示していただけると利用しやすいです。

【産業利用／X 線散乱】

○SPring-8 で結晶化すると結晶化条件が異なってしまう、今回うまくデータが得られませんでした。湿度が異なることが一因だと考えられるため、結晶化するための環境整備を進めていただけると助かります。

【生命科学／X 線回折】

(2) 食堂その他要望等

○食堂の営業時間について、朝は 7:30 からにしたい。ビームタイムが 10:00 に終了するため、終了前の装置前での作業時間確保のためにも朝早く営業していただきたい。研究交流施設のチェックアウト時間を 11:00 までにいただきたい。10:00 のビームタイム終了後、余裕を持って部屋を片づけてチェックアウトできるため。

